

豊かな心と、
輝く瞳をはぐくむ。

対応するSDGs目標



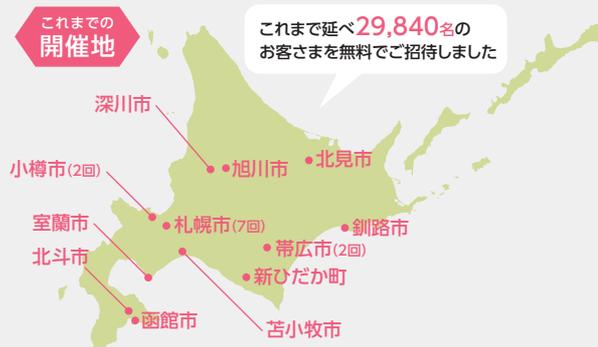
子どもたちが心豊かに、瞳を輝かせて育つまちは、
暮らしに潤いと感動、笑顔が広がるふるさとへ。
そんな想いを叶えるための様々な取り組みに努めています。

芸術文化振興への取り組み

北洋銀行 presents

札幌交響楽団によるクラシックコンサート

北海道の文化がますます盛んになるよう、2012年から札幌交響楽団によるクラシックコンサートを道内各地で開催しています。フルオーケストラによる公演のほか、アンサンブルによるミニコンサートも実施しており、道民の皆さまに本格的なクラシック音楽をお楽しみいただいています。



札幌公演(2018年)



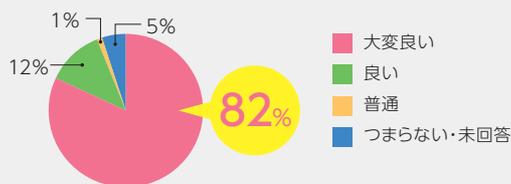
北斗公演(2018年)

お客様の声

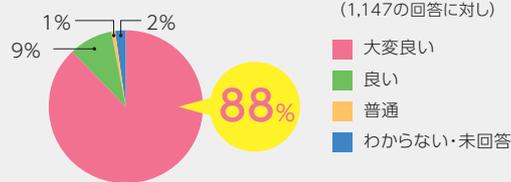
2018年12月18日開催「第18回北洋銀行presentsクラシックコンサート」の来場者アンケートより

ご来場されたお客さまからは様々な声が寄せられ、9割の方から「大変良い」「良い」とのお答えをいただきました。

コンサートはいかがでしたか? (1,147の回答に対し)



北洋銀行がこの様なクラシックコンサートを開催することについてどう思われますか? (1,147の回答に対し)



「ご来場者アンケートのフリーコメントより」

道内の企業でクラシック音楽を扱っているところは少ないと思います。このような活動をぜひ続けてください。(60歳代男性)

とても素晴らしい演奏会でした。馴染みのある曲が多く、親しみやすかったです。(30歳代女性)

指揮者による曲の解説がとても楽しかったです。演目も素晴らしいと思いました。(50歳代女性)

国際教育音楽祭「PMF」

世界の若手音楽家の育成を目的に、1990年より毎年開催されているPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に協賛しています。夏の音楽祭の期間中には、お取引先の皆さまをご招待するミニコンサートを当行本店セミナーホールにて開催し、アカデミー生が奏でる音色をお楽しみいただいています。



北洋大通センターでのミニコンサート

特集

お客さまとの
共通価値の創造

環境保全

医療福祉

教育文化

ダイバーシティ

経営について

スポーツ振興への取り組み

ほっくー障がい者スポーツ基金

北海道の障がい者スポーツを支援 パラスポーツ応援債

北海道の障がい者スポーツを応援する私募債「パラスポーツ応援債」をお取り扱いしています。これは、お客さまに私募債を発行いただくことにより、当行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」より道内の障がい者スポーツに取り組む選手や団体等に寄付金を贈呈するものです。基金の贈呈、支援方法については、官民連携である「ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会※」を

設置し、妥当性・公平性・透明性の確保に努めています。当行は今後も、地域のお客さまとともに、道内の障がい者スポーツを支援してまいります。

※ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会・・・北海道・札幌市・公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会・一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会・株式会社北海道新聞社・当行より構成

2018年度
パラスポーツ応援債取扱実績

32件/1,630百万円



スポーツ応援事業

北海道との包括連携協定の一環として、「子ども」ならびに「障がい児者」に重点を置いたスポーツ応援事業を実施しています。道内のスポーツの発展と地域におけるスポーツの推進を目的としており、子どものスポーツでは体力向上と地域活性化、障がい児者スポーツでは、障がいに対する理解深耕と障がい児者の社会参加の促進に寄与したいと考えています。

障がい児者スポーツ

公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会のご協力のもと、障がい児者スポーツの活動団体から公募を募り、障がい児者スポーツの振興と向上に資する大会・教室等の活動の中より選定し、助成金を交付させていただきます。



障がい児者スポーツ団体
助成決定通知書授与式(2019年)

子どものスポーツ

公益財団法人北海道スポーツ協会のご協力のもと、スポーツ教室を開催します。地元のスポーツ少年団やスポーツクラブとも連携し、5種目10回以上のスポーツを体験できるものとします。当協会を通じ、各市町村体育協会へ助成させていただきます。

Pick up!

美唄市スポーツチャレンジクラブ (道体協チャレンジクラブ地域版)

2018年度チャレンジクラブ地域版の実施市町村のひとつである美唄市では、6月から10月までに計11回のスポーツ教室を開催し、参加した小学生たちが様々な種目のスポーツを体験しました。

実施種目
体カテスト
剣道
陸上
バスケット
バドミントン
ソフトボール
など



スポーツを体験する子どもたち

主催：公益財団法人北海道スポーツ協会 NPO法人美唄市体育協会
協力：NPO法人美唄市体育協会加盟競技団体

金融経済教育

北海道の未来を担う子どもたちのための出張授業や講師派遣、本支店見学などの各種金融教育を実施しています。また、貯蓄や投資を通じた安定的な資産形成に資する金融リテラシーの向上を目的に、金融経済教育のための各種セミナーを開催しています。

職場見学の受け入れ

小学生から高校生を対象に、当行本支店にて職場見学を積極的に受入しています。店内見学や職場体験のほか、お金の仕組みや銀行の役割に関する講義等を行っています。



小学生の職場見学(北郷支店)

金融教育ができる人材の育成

金融教育ができる教員を育てることを目的に、北海道教育大学との金融教育プロジェクトにも継続して取り組んでいます。当行職員が講師となり、同大学の学生を対象にマネーモラルや銀行の社会的役割についての講義を行っています。

職業体験イベントへの参加

各地域で行われる職業体験イベントに当行ブースを出展し、お金の大切さや仕組み、金融機関の役割等を学ぶ機会を提供しています。小学生を対象としたイベントではボードゲームを通して銀行の仕組みを学んでもらい、高校生を対象としたイベントでは資産形成に関するライフプランニング体験を行いました。



夏休み！こども体験アカデミー

金融リテラシーセミナーの開催

資産形成層のお客さまを対象に、非課税制度を活用した資産形成に関するセミナー等を当行本支店やコンサルティングプラザにて開催しています。また、学生への金融経済教育として、中学生を対象とした「ライフプランニング授業」を行い、将来の生活と資産形成の大切さを学んでもらいました。



江差中学校でのライフプランニング授業

2018年度 金融教育実績

学生を対象とした金融教育

	実施回数	参加人数
職場見学受入	42回	285名
職業体験イベントへの出展	3回	174名
講師派遣	2回	384名

社会人等のお客さまを対象としたセミナー

	実施回数
資産形成セミナー	942回
相続関連セミナー	23回
資産運用セミナー	50回

Pick up!

金融リテラシーセミナー

「教えて！桐谷さん～株主優待生活ココだけのは・な・し」
(2018年9月)

バラエティ番組「月曜から夜ふかし」(日本テレビ系列:毎週月曜夜23時59分～放送)でおなじみの桐谷広人氏をお招きし、株主優待を切り口として投資の魅力をお伝えするセミナーを当行本店にて開催しました。当日は315名のお客さまにご来場いただき、投資の基本を学ぶミニセミナーと桐谷氏によるトークセッションをお楽しみいただきました。



共催：株式会社北洋銀行・株式会社東京証券取引所・株式会社上光証券(現・北洋証券)

主催／毎日新聞社 協賛／北洋銀行

第46回 中学生作文コンクール

「わたしの好きな北海道」

テーマは



北洋大通センターでの表彰式(2019年1月)

全道16,142点の応募の中から選ばれた入賞者

特選の入賞者

文部科学大臣賞	貸谷 文音さん(札幌・真駒内中1年)
北海道知事賞	宮川 七海さん(小樽・望洋台中3年)
北海道中学校長会会長賞	畑中 優花さん(室蘭・港北中3年)
北海道学校図書館協会会長賞	本間 心花さん(函館・本通中1年)
特選 毎日新聞社賞	村島 則壮さん(釧路・鳥取中3年)
特選 北洋銀行賞	西村 菜結さん(旭川・東明中1年)

北海道の未来を担う中学生の育成を目的として、2013年度から中学生作文コンクールに協賛しています。2018年度は「北海道命名150年」のパートナー事業として実施し、作文テーマを「わたしの好きな北海道」としました。全道から1万6千点を超える応募があり、表彰式は当行本支店を主会場として、道内5地区で開催しました。

入賞作品集

「わたしの好きな北海道」



入賞作品や表彰式風景をとりまとめた作品集を発行しています。

特選入賞者
からの
一言

貸谷 文音さん (札幌市立真駒内中学校1年)

この度は素晴らしい賞をいただき、驚きと共に嬉しい気持ちでいっぱいです。私が印象深く感じた自然の姿の多くは、真駒内公園にありました。作文の中に出てくるエゾフクロウは、今年の冬も真駒内公園の同じ場所に戻ってきてくれました。私の作文を読み、少しでも多くの方々に身近な自然に目を向けてもらうことができたら幸いです。このような機会を与えてくださった皆さまに心から感謝します。ありがとうございました。



劇団四季による子どもたちへの取り組みを支援

日本最大の演劇集団・劇団四季が実施する北海道四季劇場での児童芸術鑑賞教室を支援するほか、道内各地で開催されている無料招待公演「こころの劇場」のサポーターとして、舞台を通じて子どもたちの心に「命の大切さ」「人を思いやる心」など、人が生きていく上で大切なものを語り掛ける活動を応援しています。



劇団四季「こころの劇場」

「王様の耳はロバの耳」(撮影:阿部章仁)

奨学金支援

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会ならびに公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会が行っている奨学金事業について、それぞれ1976年および1985年より支援をしています。



札幌市母子寡婦福祉連合会奨学金贈呈式